

SINAPIS ニュース

社会活動センター・シナピスは平和を実現する使命に向けて生きる人びとを応援します

No. 62 2021. 7

“すべてのいのちを守ろう”

— 誰も置き去りにしない世界に向けて No one will be left behind —

2021年正義と平和大阪大会テーマ



7月11日 船員の日
船員たちへの手づくりプレゼント



カトリック大阪大司教区 社会活動センター

シナピス



地上でもっとも小さいといわれている種子、それがシナピス(からし種)です。
イエスは神の愛がすべての人におよび、互いに尊重し合い、愛し合うように願って平和の種をまき、
やがて鳥が巣をつくるほどの大きな木になると約束しました。

TEL 06-6942-1784 FAX 06-6920-2203 E-mail sinapis@osaka.catholic.jp

巻頭言

今年の7月11日は船員の日

船員司牧担当エリック・デ・グスマン

海外からの輸入品が好き？海外からの衣類や食類や自動車などが好き？私たちが使っている石油は海外から輸入されている。調理済みの魚から高級のキャビアまですべて海からのものだ。輸入品や海の幸が好きか嫌いにかかわらず、私たちは皆気付かないうちに海外からの輸入品や海から獲られたものを既に使用し消費している。恐らく誰でもこれらのものを使っており、船員たちにお世話になっているだろう。

輸入品のほとんどは巨大なコンテナ船によって運ばれており、海の幸は色んな漁船で獲られている。また、空路の他に、海路を利用する人々が多く、小さなボートから立派なクルーズ船までの客船に乗ることで、陸路の限界が補われている。

人との、そして、船そのものを目的地に無事にたどりつかせることが、船員たちの仕事だ。わたしたちが色んなものを楽しく味わうことができるのは、ものの高い品質をそのまま保ち、楽に手に入れることができるのは、船員たちのおかげだ。船員たちが自分の家族から離れ、出発点から目的地までの遠距離をたどり、変わりやすい状況にもかかわらず海を渡り、様々な危険に直面しながら、わたしたちに多くのものを届けており、場合によって、私たち自身をも目的地まで安全に送っている。

教会は船員たちのことをずっと前から大切にしている。イエスも弟子たちもよく舟に乗った。一部の弟子も元々漁師の仕事をしていた。船員司牧活動は1920年にスコットランドで始まった。船員司牧の主な活動は訪船活動で、船の中で船員たちと交流したり、ミサをささげたり、ゆるしの秘跡で話しを聞いたりする。しかし、去年から新型コロナウイルス感染症が広まってしまい、訪船活動ができなくなった。公開ミサに与れないわたしの辛さは、船員たちにとって私の倍以上の寂しさだと思う。コロナ禍の前からも、すでに自粛のような生活を送っている船員たちには、他の人との触れ合いがとても大事である。第二の故郷のような環境を提供することを目指している船員司牧活動だが、今、港によることのできない船員たちは、近いのに遠い存在のようだ。

船に上がることはできないが、お土産や寄付品、や霊的な資料を渡すことができる。そのために、多くのボランティアを募集している。船員たちの安全と無事を祈りながら、ニット帽子や折り紙や小さなお土産などを作っている。海上を旅する船員たちもこの世を旅する教会の一部であることを意識して頂く目的で、「船員の日」は毎年設けられている。ぜひ、少しでも恩返しとして、船員たちにずっとお世話になっている私たちは、彼らのために祈り、できることをこれからもささげていこう。



今月のページ

■ ニュースレター 目次 ■

- 1 巻頭言
- 2 シナピスの風
- 3 北地区社会活動委員会学習会報告
- 4 子どもたちに伝えたい平和
- 5 時報7月号
- 7 教えてください～！！第十五弾！
- 9 みんなの掲示板
- 11 あとがき



■ チラシ・ご案内 ■

- ・シナピスの風（小教区・修道会のみ）
- ・7月の祈り
- ・忘れないあきらめないカレンダー
- ・私たちは人間だ！ドキュメンタリー映画制作にご協力を！
- ・中村哲さん写真パネル展
- ・日本キリスト教団京都教区社会セミナー2021





カトリック正義と平和協議会全国集会 大阪大会 2021.11.22~23
“すべてのいのちを守ろう”
～誰も置き去りにしない世界に向けて No one will be left behind～



地上でもっとも小さいといわれている種子、それがシナピス（からし種）です。イエスは神の愛がすべての人におよび、互いに尊重し合い、愛し合うように願って平和の種をまき、やがて鳥が巣をつくるほどの大きな木になると約束しました。

シナピスの風

* 行事はコロナ感染症の影響で延期または中止になることがあります。
ご参加の際は連絡先にお問い合わせください。

第 139 号 2021 年 7 月 1 日発行

イエスのうちにとどまる

最後の晩餐のときにイエス様は何回も繰り返されました。

「わたしのうちにとどまりなさい」
「わたしの愛のうちにとどまりなさい」。
キリスト者として生きるための基本です。
イエスのうちにとどまるなら、すべてが変わります。
神様を「天の父」と呼べます。
他人は、兄弟姉妹になります。
自然は、皆に与えられた神様の賜物として見えてきます。
自分は、神に愛されていることが分かります。
そこから、天の父が望んでおられる
「だれをも置き去りにしない」世界を築く力が生まれます。
イエスよ、
あなたの愛のうちにとどまらせてください。アーメン。



シナピスでは、毎月のお祈りをニュースレターとともにお送りしております。教会で、ご家庭で、日々のお祈りにお使いください。シナピスのホームページからも、ダウンロードしていただけます。

2021 平和旬間 8月6日～15日

2021 大阪教区平和旬間共通テーマ

誰も置き去りにしない世界へ



今年のテーマは正義と平和協議会全国大会のサブテーマと重なり「誰もが置き去りにしない世界へ」です。
平和旬間の原点は、このような世界を実現するために自らが「平和の道具」となることといえます。

平和旬間とは？

1981年、教皇ヨハネ・パウロ二世は広島で、「過去を振り返ることは、未来に対する責任を担うことである」と述べられました。戦争を振り返り、平和を思うとき、平和は単なる願望ではなく、具体的な行動でなければなりません。そこで日本のカトリック教会は、その翌年、もっとも身近で忘れることのできない、広島や長崎の事実を思い起こすのに適した8月6日から15日までの10日間を「日本カトリック平和旬間」と決めました。

「平和旬間」に広島教区と長崎教区では、全国から司教をはじめとして多くの信徒が集まり、「平和祈願ミサ」がささげられます。各教区でも、平和祈願ミサや平和行進、平和を主題とした映画会、講演会、研修会、平和を求める署名などが行われます。
(2021 情報ハンドブックより)

シナピス工房 サマーカタログができました。



色とりどりのカードやマスクチェーンなど



問合せ・お申し込みはシナピスまで
こちらからご覧いただけます ▶▶



正義と平和協議会全国集会大阪大会

大会まであと5か月

オンライン開催！

参加申し込み
8月初旬より受付開始！

◆ 分科会主催 2次募集終了
たくさんのご応募、ありがとうございました。

◆ 大会参加申込みパンフ作成中 小教区・修道会・諸団体にお送りします。(8月初旬)



■ 大会ボランティア募集

要約筆記、インターネットを使用できない参加希望者に同伴できる方(スマートフォン、PCをお持ちの方)IT・オンラインサポート etc 説明会、研修あり(初心者歓迎)
申込など詳しくは JP 大阪大会事務局ページをご覧ください。 ▶▶

http://www.osaka.catholic.jp/no_side/jptaikai2021.html ☎06-6942-1784

- 分科会 とびらをたたこう！ Knock👏
～子どもたちの居場所づくり～大阪が生んだ総理大臣？～オンライン広島巡礼！
～ゴジラからみる平和！～沖縄から-私宅監置写真展～LGBT・エイズ・コロナ
～聴いて伝えるためにどんな言葉がいいのかな などなど
- 特別プログラム(23日のみ) 一緒にかんがえよう いのちのこと♡
①対象：こども・青年・移住者のみなさん
スペシャルゲスト出演交渉中 お楽しみに！
②カトリック学校 先生たち奮闘中(有志)
中高の生徒たちによる学習発表会と分かちあい



食糧支援のお願い コロナ禍で解雇された技能実習生、帰国できずに困っている留学生や短期滞在者が増えています。あわせ調味料、缶詰など、日持ちのする食品などのご支援をお願いします。



カトリック大阪大司教区 社会活動センター シナピス
Tel 06-6942-1784 Fax 06-6920-2203
URL: <https://sinapis.osaka.catholic.jp/>

「点訳版」「音訳」
ご希望の方はシナピスまで
お申込み下さい。

北地区 社会活動委員会学習会報告

門真教会 小野幸治



大阪北地区では平和旬間行事の取り組みについて、2021年「世界平和の日」教皇メッセージを礎にしようと、定例会議で話し合っています。このため6月12日、関目教会にて、シナピスセンター長の松永敦神父様にお越しいただき「世界平和の日」メッセージ学習会を開催しました。

学習会冒頭、松永神父様は詩人金子みすゞの代表作である「私と小鳥と鈴と」を取り上げ、人間を含めて自然がそれぞれ支え合って存在できることを教えられました。また、誰もが業績や知識で比較できない「すばらしい存在」だということを感じさせてくれるものだとして強調されました。教皇メッセージを読むときには自己中心からの視点ではなくて、金子みすゞのような視点に立つ必要があるということです。

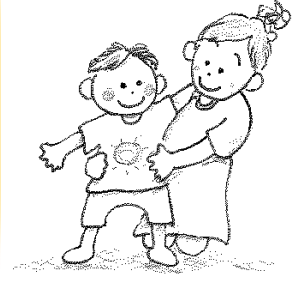
次に教皇が私たち信徒に伝えたいものとして、最も弱い立場にある人に向けて、関心をもって互いに受け入れ互いにケアする兄弟姉妹の共同体を、具体的につくっていくことが大事だということと言われました。それには、他者をまず思いやって自分は何ができるかということを考える視点を持つことであり、自然と私、神様と私という視点にも思いを及ぼすことが求められます。教皇メッセージは他者と自然と神様との繋がりを思い起こしながら読むことが必要だということ、それぞれとの繋がりを深く考えていかないといけないし、自分のこととして考えていかないと教皇メッセージは響いてこないという指摘は、あらためて私たちの学ぶ姿勢が問われていると感じさせるものでした。必要とされるのは、想像力と共感力だということです。そのことを普段私たちは気にしているのか、考えさせられました。

教皇メッセージのタイトルは、「平和の道のりとしてのケアの文化」ですが、神父様はコロナ禍のなか女性の自殺が増えていること、貧困家庭の状況、さらにアジア・アフリカの人々に心を砕いているのか、教皇様は“何処まで誰を” 気にかけているのかを問うていると言われます。それは平穏だとして惰眠を貪りがちな私たちの胸に響きます。ケアは相互行為であり、一人が「良し」と思ってケアしても、他方がそう思っていなかったら意味がない。どちらも良いと思えるようなケアが求められるということも、日ごろ上から目線になりがちな私たちに、反省を迫るものではないでしょうか。

素晴らしい神父様のお話を10分の1ほどもお伝え出来ませんが、以上感想を交えた報告とします。



子どもたちに 伝えたい平和



「わたしにできること」

城星学園中学高等学校教諭
日本ビルマ救援センター（BRC-J）代表
中尾 恵子

学校の総合学習の時間に「世界がもし 100 人の村だったら」のワークショップを取り入れています。生徒はそれぞれに配られたカードを持ち、そのカードに書かれている村人になって、体験をしながら学びます。村人は性別、年齢、住んでいる国も様々です。

ある村人は子どもの薬を買いに行きますが、文字が読めないために殺虫剤を買ってしまいます。「富の分配」では、お茶 60 ミリリットルを 10 人で分ける村人たちがいる一方で、3 リットルのお茶を「飲み切れないよ」という村人たちもいます。女性であることを理由に差別される、文字が読めなくて困る、貧しい家に生まれて苦しむ——。「100 人の村の 82 人には食べ物の蓄えがあり、雨露をしのぐところがあります。でも後の 18 人はそうではありません。…もしもあなたが空爆や襲撃や地雷による殺戮や武装集団のレイプや拉致におびえていなければ、そうでない 20 人よりは恵まれています」。生徒たちは、自分が当たり前と思っていた世界は、実は世界のほんの一部で、知らなかった現実が数多くあったことに気付かされます。当事者を疑似体験することで他者への関心と寄り添う気持ちが生まれるのです。

世界で流れるニュースは日々、目まぐるしい勢いで新しいものに置き換わっていきます。私たち BRC-J が長年心を寄せてきたビルマ（ミャンマー）で、軍事クーデターが発生して早や 4 ヶ月。当初大きかった報道も、少しずつ小さくなっているのを感じます。しかし、軍事独裁者による市民への弾圧はさらに酷くなり、死者は 860 人を超えました（6 月 12 日現在）。少数民族が暮らす周辺地域では、空爆から身を守るため、1 万を超える人々が国境地帯や隣国へ逃れています。SINAPIS ニュース 6 月号ではヤンゴン大司教枢機卿の緊急声明が紹介されていました。カヤー州ロイコーのカヤンヤル聖心教会への攻撃では 4 人が亡くなり、10 人近くが負傷。全てが破壊されたがれきの中で、横たわるマリア様の像を目にした時、言葉を失いました。同じようなことが、ビルマ各地、いえ、世界のあらゆる紛争地域で日々繰り返されているのです。

私たちにできることとは、何でしょうか。駆け寄って慰めの言葉をかけることはできません。しかし、苦しんでいる人びとのことを忘れず心に留めて、その人びとのために祈ることはできると思います。

時報7月号より

イエスにならう生き方を求めて

悩みを持つ人々の痛みに寄り添い、
その悩みを少しでも分ち合うことのできる、
教会共同体をめざして

日本カトリック司教団著「いのちへのまなざし」
増補新版より

2021 平和旬間
8月6日～15日

2021 大阪教区平和旬間共通テーマ

誰も置き去りにしない世界へ



今年のテーマは、正義と平和協議会全国大会のサブテーマと重なり「誰も置き去りにしない世界へ」です。平和旬間の原点は、このような世界を実現するために自らが「平和の道具」となることといえます。テーマの趣旨を理解する上で助けとなるよう、酒井司教のメッセージを紹介します。

社会福音化部部門長 パウロ酒井俊弘補佐司教

11月の「カトリック正義と平和全国集会大阪大会」のサブテーマは「誰も置き去りにしない世界に向けて」です。教皇フランシスコは今年の世界難民移住移動者の日のメッセージでこう述べておられます。「人類家族を再生し、正義と平和の未来を共に築き、誰一人置き去りにしないために、すべての人々がより広い『私たち』になる旅を共に歩むよう訴えます。私たちの社会は、多様性と文化交流によって豊かになる『カラフルな』未来に向かっていきます。ですから、私たちは今からでも、調和と平和の中で共に生きることを学ばなければなりません」（試訳）。では、私たちが学ぶべき具体的な点はどのようなもののでしょうか。

先日、「これこそが平和を生きようとする方法だ」と学んだ記事がありました。それは、入国管理局から仮放免になっている外国人を支援している関東のある信者の方が書いたものです。

「敬虔なクリスチャンの男性は収容所に2年間も収容されていた。仮放免の今、仕事ができない彼の所持金はほぼゼロ。『こんな国で申し訳ない。政府が役立たずで人でなしで残酷で意地悪で申し訳ない』と私が言うと、彼は笑みを浮かべて天井を仰ぎ、『私は毎日祈っています』と言う。間髪を入れずに私が『政府に裁きを与えてくれと？』と半ば本気で怒りを込めて言うと、『ノー、ノー、ノー』と彼は苦笑する。『では、地獄の炎に焼かれると？』『ノー！』私の過激な言葉に弱り切って、彼は穏やかな声で言った。『全ての人に良心はある。その良い部分が出てくれるようにと』」。

私たちが誰も置き去りにせずに、調和と平和をすべての人と共に生きることを目指すのであれば、怒りではなく祈りという平和の息吹を武器とするべきです。そして、まず自分の手の届く、声の届く、目の届く範囲の身近な人たちを置き去りにせず、その人たちとの平和を築いていかなければ本末転倒でしょう。自分の家族、友人、同僚、上司や部下と平和を築く努力をせずに、世界の大国に核兵器を捨てるように求めるのは安易すぎることです。

「わたしをあなたの平和の道具としてください」で始まる聖フランシスコの平和の祈りはこう結ばれます。「わたしたちが、自ら与えることによって受け、許すことによって許され、自分の体をささげて死ぬことによって永遠の命を得ることができるからです」。

自分の中にあるネガティブな思いを消し去り、祈りと微笑みをもって平和を広めることができる人が平和の道具となれます。平和旬間を通して平和を学び、まず身近な人を置き去りにしない平和の人となりましょう。



平和旬間とは？

1981年2月23日～26日、教皇ヨハネ・パウロ二世は「平和の使者」として日本を訪問し、多くの人々に喜びと希望を与えました。特に広島では、「過去を振り返ることは、将来に対する責任を担うことである」と言われ、日本国内外に平和メッセージを発信しました。戦争を振り返り、平和を思うとき、平和は単なる願望ではなく、具体的な行動でなければなりません。

そこで日本のカトリック教会は、その翌年（1982年）、もっとも身近で忘れることのできない、広島や長崎の事実を思い起こすのに適した8月6日から15日までの10日間を「日本カトリック平和旬間」と決めました。

毎年の平和旬間にあたり、そのための談話が発表されます。これ読んでいただき、ともに平和を祈り、平和を考え、平和について語り、平和のために行動する機会になることを願っています。

この「平和旬間」に広島教区と長崎教区では、全国から司教をはじめとして多くの信徒が集まり、「平和祈願ミサ」がささげられます。また各教区でも、平和祈願ミサや平和行進、平和を主題とした映画会、講演会、研修会、平和を求める署名などが行われます。

わたしたちが望む平和とはまだまだ程遠い状況ではありますが、聖ヨハネ・パウロ二世教皇の思いを新たにし、その心を心とするためにも各教区・地区で行われます平和祈願ミサや様々な行事に参加することをお勧めします。

カトリック中央協議会ホームページより <https://www.cbcj.catholic.jp/faq/heiwajunkan/>

正義と平和協議会全国集会大阪大会

大会まで あと5か月

オンライン開催！

**参加申し込み
8月初旬より受付開始！**

●分科会 とびらをたたこう！ Knock

～子どもたちの居場所づくり～大阪が生んだ総理大臣？～オンライン広島巡礼！

～ゴジラからみる平和！？～沖縄から-私宅監置写真展～LGBT・エイズ・コロナ

～聴いて伝えるためにどんな言葉がいいのかな などなど

●特別プログラム(23日のみ)

①対象：こども・青年・移住者のみなさん

スペシャルゲスト出演交渉中 お楽しみに！

②カトリック学校 先生たち奮闘中(有志)

中高の生徒たちによる学習発表会と分かちあい

◆分科会主催2次募集終了

たくさんのご応募、ありがとうございました。

◆大会参加申込みパンフ作成中 小教区・修道会・諸団体にお送りします。(8月初旬)

■大会ボランティア募集

要約筆記、インターネットを使用できない参加希望者に同伴できる方(スマートフォン、

PCをお持ちの方)IT・オンラインサポート etc

説明会、研修あり(初心者歓迎)



申込など詳しくは JP 大阪大会事務局ページをご覧ください。⇒

http://www.osaka.catholic.jp/no_side/jptaikai2021.html ☎06-6942-1784



「エコジカルな回心」とは？

住民登録がない人も新型コロナワクチンは接種できるのでしょうか？

大阪では65歳以下の住民にも接種券が届き始めました。この接種券は住民票がある場所に送られる仕組み。では、私たちの隣にいる仮放免の人々はどうなるのでしょうか？在留資格をもっていないので各地方自治体で住民登録がされておらずまだ接種券が届いていません。そもそも、接種をすることはできるのでしょうか？

接種できます！

厚生労働省は、今年3月31日付けで、「入管法等の規定により本邦に在留することができる外国人以外の在留外国人に対する新型コロナウイルス感染症に係る予防接種について」の文書を各都道府県に送りました。ここでは「入管法」などの規定に基づき、居住実態が明らかでない人から申請があった場合には、各市町村が接種券を発行し、予防接種が受けられるよう適切な配慮を行うようにと明記されています。

でもどうやって・・・？ 接種券の受け取り方を聞いてみました。

和歌山県、兵庫県、大阪府
A. 「具体的な住民の接種については各市町村が担当しているので、居住地の市町村に問い合わせてもらいたい」

堺市
A. 「新型ワクチンコールセンターで事情を話し、仮放免許可証と住所がわかる公共料金の請求書などをFAXなどで送れば、その住所に接種券が送られます」



大阪市
問い合わせると、関連窓口をいくつもまわされ、なかなか返答が得られず、やっと得られた返答。
A. 「新型コロナワクチンコールセンターで事情を話して住所を伝えたら接種券が送られます」

神戸市
A. 「新型コロナワクチンコールセンターで事情を話してください。仮放免許可証などで住所の確認ができれば接種券が送られます。確認の方法は個別に相談に応じます」

お手伝いします

厚労省からの連絡はどの自治体も受け取っているはずなのに、問合せをしたいくつかのコールセンターの中で「接種できる」と即答してもらえたところはわずか1件でした。ほとんどが「仮放免」自体を知らず、接種の対象になるかどうか、接種券を発行する方法についても不明の状態。これでは当事者や支援者が窓口連絡しても、たらいまわしにされた挙句「わかりません」、「できません」となってしまう可能性があります。なお、仮放免の人々だけでなく、戸籍がない、家がないなどで住所の登録がされていない人も接種を受けることができます。

身近に、接種できるかどうかわからない、窓口で電話したけれどよくわからなかった、という方がいらっしゃったら、シナピスまでお電話ください。窓口への問合せをお手伝いします。

☎06-6942-1784 (シナピス事務局)

途上国にワクチンを供給する「COVAX ファシリティー」が、うまく機能しておらず、豊かな国でワクチン接種が進んでいる反面、途上国ではワクチンが不足し、変異株の流行もあいまって依然として感染が拡大しています。

ワクチンを受ける、受けないの判断も含め、世界のどこでも、私たちの身の回りでも「誰も置き去りにしない社会」を作るために、すべての人が尊重されているか、常に目を配っていきしたいと思います。



みなさんがご存じのことを教えてください

たとえばこんなこと

1. 環境のためにしていること、昔から言い伝えられている知恵

2. あなたにとって、「すべてのいのちを守る」とは？

☆お名前またはニックネーム _____

☆連絡先（メールアドレスや電話番号など）

☆投稿方法 FAX : 06-6920-2203 / メール : sinapis@osaka.catholic.jp

QR コード*

*QRコードの読み込みには、スマートフォンなどでQRコードリーダーをダウンロード
することが必要です。



シナピスホーム便り



こんにちは！緊急事態宣言が明け、6月27日からカフェを再開しました。

感染拡大が落ち着いたら「おとしより食堂」を始めることができるよう、引き続き難民移住者のメンバーとスタッフが試食づくりに励んでいます。

山田直保子



ともに作り、食べる喜び

試食づくり第3回目の担当はイラン出身のBさん。ミルザ・カセミという、ナスとトマトを細かく切り、卵と煮込んだ料理を作ってくれました。Bさんはイランにいたときに食べたきりで作るのも初めて。約30年ぶりに味わう料理に感極まっているようでした。もう一人のイラン出身の青年も10年ぶりに食べたとのこと。調理中の匂いだけでイランにいたときの家の中の風景がよみがえってきたと、うるうるしていました。



みな「美味しい！」と絶賛。イタリアンなお味でした。白米にもパンでもパスタでも合い、ご高齢の方にも違和感なく召し上がっていただけそうです。

初めて作った料理が大成功でご満悦のBさん。しつこく「おいしいですか？」と聞き、みなに笑われていました。作ったことがない料理で分量も多いので不安だったらしく、イランのお母さんや妹に何度も相談してアドバイスしてもらった様子。大成功の報告に家族も大喜びだったそうです。

今回、私はみな姿を見ていて感慨深いものがありました。匂いだけでイランの家を思い出した青年や、普段簡単な調理だけしかしないけれども、ホームの食堂で出す料理だからと頑張って色々調べて作ったBさん。「30年ぶりの味！！お母さんの味は特別で同じではないけれども、イランで食べているみたいでとても嬉しい」と子どものようにはしゃいでいました。

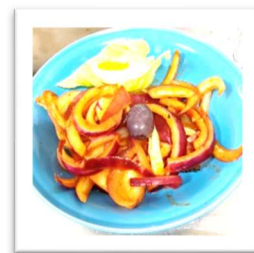


イラン料理は食べたことがないからと不安がっていた女性たちも、一緒に調理することで不安が解消され、家でも作ってみようかと情報交換していて、不覚にも感動してしまいました。この小さいホームでは寂しさが薄れ、不安感も偏見も解消されて、食べ終わった後は翌週の料理を楽しみに話し合います。

こんな感動を近くで見られる私はなんて幸せ者なんだろうと思いました。人に優しく接してもらったら自分も優しくしたくなる。人が困っていたら助けて自分も助けられる。そんな日常がホームには当たり前がありますが、世の中は厳しく当たり前ではありません。どうかつらい状況を一瞬でも忘れて救われてほしいと心から祈りました。

いろいろなやりかたが・・・

試食づくり第4回目はペルー出身のAさんが担当でした。メニューはスカベツチェという鮭と玉ねぎ、ジャガイモの炒め物とオレンジゼリーでした。スカベツチェはペルーの家庭料理です。Aさんもほかのメンバーと一緒に、いろんな指示を出しながら頑張ってくださいました。途中、作る人によって同じ野菜でも炒め方が違っていたりして揉めたりもしましたが、料理ができると、みないつもの笑顔に。



全員で試食をしました。ケチャップ味のようにとても美味しかったです。玉ねぎの量、切り方などをみなで話し合いました。鮭は一度素揚げしているので、ほくほくで美味しかったです。

オレンジゼリーは、粉をお湯で溶いて冷蔵庫で冷やすだけで作ることができ、のど越しがとてもよく美味しい。子どもや食欲のない高齢者にぴったりだと思いました。水分補給の代わりにもありそうです。



その後、ブラジル出身のCさんが前日に作ってくれたトルタ・デ・フランゴをみなで試食しました。これは、パイの中に、鶏の胸肉やチーズ、コーンなどがぎっしり詰まったブラジル料理です。パイ生地を小麦粉から手作りしてオーブンで焼きあげており、みな大絶賛！他にもミルクプディングをおやつに作ってきてくださいました。

主人公は難民・移住者

週に一度、ブラジル出身のCさんがリーダーシップをとり、ホーム会議を開いています。この会議は難民移住者のメンバーが中心となり、ホームのこれからについて話し合います。カフェを地域のみなさんに紹介するために看板やメニューを工夫しよう、トイレの壁を張り替えよう、家庭菜園も充実させようなど、様々なアイデアが寄せられ、スタッフとともに実現する道を探っています。お国も年齢もバラバラですが、ホームを大切に思う気持ちはみな同じ。どんなアイデアが飛び出すのか、スタッフもわくわくしながら会議に参加しています。みなさんも楽しみにしててくださいね！



みんなのけいじばん

『自助』はもう限界！つくろう『みんなの輪』 コロナにかつ！いのちをつなぐ緊急『食』支援

シナピスでもお世話になっている「ふーどばんく OSAKA」が、食品の提供と生活、資金にかかわる相談会を実施します。

日時：7月28日（土）、8月28日（土）
いずれも10時から12時（1000名分）

場所：扇町公園（催し広場付近）

主催：認定 NPO 法人ふーどばんく OSAKA「コロナにかつ！いのちをつなぐ緊急『食』支援実行委員会

連絡先（メール）：minnano-wa2021@foodbank-osaka.jp

ありがとうございます

食品、物資のご寄付がいろいろなところから寄せられています。コロナ禍で困窮している難民移住者に声をかけて配り、喜ばれています。また、物資の運搬にあたっては運転手のボランティアさんにもお世話になっています。

心より感謝申し上げますとともに、引き続きのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

掲示板には、メール、FAX、または右のQRコードからご投稿ください。

☆電話番号：06-6942-1784 ☆FAX 番号：06-6920-2203

☆メール：sinapis@osaka.catholic.jp



声を
届けよう!

ミャンマーの人々の
いのちを守ってください



シナピスにハガキあります。

ミャンマーの人々のいのちを守り、人道的配慮がなされるように、引き続き働きかけてまいりましょう。

教皇フランシスコの祈り

ミャンマーの司教たちとともに訴えます。

人道回廊を設置し、教会、仏塔、修道院、モスク、寺院、学校、そして病院を、避難のための中立地帯として尊重してください。

キリストのみこころがすべての人のこころに触れて、

ミャンマーに平和がもたらされますように

「2021年6月22日ツイッター 教皇フランシスコ」(邦訳)より

活動へのご支援ご協力

よろしく願いいたします。

郵便振替 00960-7-61419

加入者名 カトリック大阪大司教区シナピス

難民移住移動者支援もよろしく願いいたします。

食料品提供のお願い

例) 合わせ調味料、缶詰など
保存のきくもの

お電話をお待ちしています!!

☎06-6942-1784



◆ HP はただいまリニューアル作業中です。
再開まで今しばらくお待ちください。

あとがき

「『人に朗々と説教だけをする人は、“たらこ”のような口だけが天国へいくんだよ』とこどものころに、ある司祭から教えてもらったことがある」と友人が話していた。口だけ? 想像したらおかしくて、大笑いしたが、はたと、笑っている場合ではないと我に返った。日頃から平和だ、置き去りにしてはいけないと言いながら、私たちが日頃手にしているものから、それを運ぶ船員さんの姿を想像したことはなかった。ミャンマーの教会や宗教施設で起きたことや、シスターが軍隊の前にひざまずいている光景を目にしても、しばらくするとどこか記憶から薄れていく。

この国でワクチン接種券が、配布されていない人がいるかどうかなんて、気にも止めていなかった。

このままだとマスクをつけた口だけが天の国に入ってしまうかも。(H)



▽▲▽ シナピスの主な活動 ▽▲▽

◆ 広報活動

- ・ 教皇メッセージ、司教団メッセージ等社会活動の指針の伝達
- ・ 読者と教会内外の社会活動をつなぐ機関誌としてシナピスニュースを発行

◆ 大阪教区・社会活動委員会との連携

◆ 学習会研修会の企画

◆ こども基金

世界・日本のこどもたちへの援助

◆ カトリック中央協議会との連携

正義と平和協議会、難民移住移動者委員会、カリタス、部落差別人権委員会に委員を派遣

◆ 人権教育の講師を務めるなど教育機関への働きかけ

◆ 難民移住移動者支援

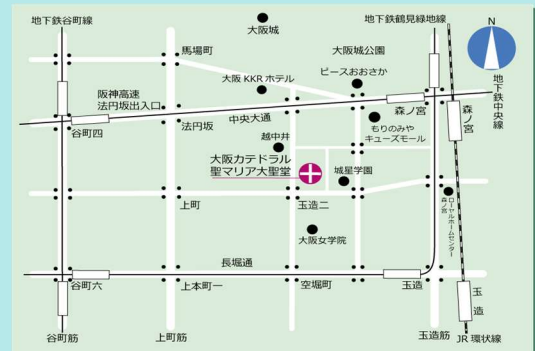
難民移住移動者の暮らしやすい社会を目指して

難民移住移動者 相談ダイヤル

☎ 06-6941-4999

アクセス

〒540-0004 大阪市中央区玉造 2-24-22
カトリック大阪大司教区事務局内



公共交通機関ご利用の場合

JR 森ノ宮駅より 約 1000m

地下鉄中央線森ノ宮2番出口より 約 800m

JR 玉造駅より 約 1000m

地下鉄鶴見緑地線玉造1番出口より 約 800m

車でお越しの場合

阪神高速 13号東大阪線法円坂出口
法円坂交差点南へ上町を東へ

活動へのご支援ご協力をおねがいします

郵便振替 00960-7-61419

加入者名 カトリック大阪大司教区シナピス



忘れない*あきらめないカレンダー

どんな状況下でも、忘れず、あきらめず、希望をもって歩む皆さまに、情報を配信します。



2021年7月の案内

★印 カトリック関係

2021年 祈禱の信徒 祈りの意向 7月

世界共通の意向： 社会における友情

紛争や対立の社会的、経済的、政治的な場面で、勇気と情熱をもって対話と友情を築くことができますように。

日本の教会の意向： オリンピック・パラリンピック

オリンピック・パラリンピックが、文化や国籍などの違いを超え、友情、連帯、フェアプレーの精神をもって互いに理解し合う、平和の祭典となりますように。

新型コロナウイルス感染症の影響で中止される場合があります。事前に各主催者へお問い合わせください。

6	火	<p>●7.6ロックアクション・御堂筋デモ 集会開始18:30～、デモ出発19:10～ ■場所:新町北公園(地下鉄四橋線本町駅2番出口) 主催:戦争あかん!ロックアクション有志 Facebookグループ「戦争あかん!街かどプロジェクト」 Facebookページ「戦争法・秘密法廃止!集会・デモ情報」</p>
10	土	<p>●「さばかれた南京大虐殺～加害と被害にせまる」 開場:13:40 開演14:00 ■場所:大淀コミュニティーセンター ドキュメンタリー映像(20分):『南京引き裂かれた記憶(加害と被害の証言部分)』 講演とトーク:『中国国民政府の戦犯追及方針と南京裁判』 講師 伊香俊哉(いこう・としや)さん(都留文科大学教授) 資料代:800円(学生500円) 主催:南京の記憶をつなぐ2021 連絡先:090-8125-1757</p> <p>●2021年度 同志社大学日朝関係史講座 総合テーマ:日本の歴史と「朝鮮」の境界 [済州島4.3事件と韓国での反共映画表現について(仮)] 講師:張惠英さん(立命館大学教員) 毎回 正午より24時間 youtube上にて公開 参加費:無料(どなたでもご参加できます) 限定公開のため配信前日の金曜日までに事前連絡要 主催:同志社大学 KOREA 文化研究会 連絡先:doshisha_koribun@yahoo.co.jp</p> <p>●佐高信講演「いま、日本を考える」 開場:午後1時半 ■場所:PLP会館4階 資料代:1000円 障がい者:500円 ネット参加:700円 オンライン中継あり 主催・呼びかけ:むのたけじ賞実行委員会 連絡先:090-2173-2591(事務局/武内) 06-6375-5561(新聞うずみ火) ✉uzumibi.lake.ocn.ne.jp</p> <p>●「表現の不自由」とジェンダー・植民地主義～く平和の少女像>をめぐる 14:00～16:00 講師:金富子(東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授)/ 「戦争と女性への暴力」リサーチ・アクションセンター(VAWW RAC)共同代表 オンライン配信のみ 申し込みはホームページ、Facebookでご確認ください。 ホームページ:https://fujiyuten.com/ Facebook:https://www.facebook.com/hujiyu.kansai/</p>
11	日	<p>●中村哲さんの意志を引き継ぎ世界の平和をめざそう! 開場 12時半 開会13時 ■会場:エルシアター(エルおおさか2F) 映画上映:「アフガニスタン用水路が運ぶ恵みと平和」 講演:藤田千代子さん(PMS=ピース・ジャパン・メディカル・サービス総院長 補佐および ベシワール会 PMS 支援室室長) 特別報告:西谷文和さん「アフガン最新現地報告」 資料代:500円(介助者・中高校生無料)手話通訳あり 主催:とめよう!戦争への道・めざそう!アジアの平和 2021 関西のつどい実行委員会 大阪平和人権センター/しないさせない戦争協力関西ネットワーク/戦争をさせない1000人委員会・大阪 実行委員会ホームページ https://www.ne.jp/asahi/info/novar/ テレフォンサービス 050-3728-5052</p> <p>●日本クリスチャン・アカデミー「コロナ禍でくらす外国人技能実習生の今」 10:00～16:00(ログイン9:30～)参加費:3,000円 ■オンライン開催(ZOOM) 講師:斎藤善久さん(神戸大学大学院国際協力研究所) 主催:公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー 関西セミナーハウス活動センター 連絡先:075-711-2117 ✉office@academy-kansai.org</p>
16	金	<p>～18日(日) ※現在(6月30現在)会場使用許可が取り消されています。お問い合わせください。 ●表現の不自由展かんさい 消されたものたち 10時～20時(最終日は16時まで) ■場所:エルおおさか9階ギャラリー 入場料:1,000円 学生・障がい者 無料 主催:表現の不自由展かんさい実行委員会 連絡先:080-9200-9357 ✉hujiyu.kansai@gmail.com 会場使用許可取消の撤回を!</p>
17	土	<p>●2021年度 同志社大学日朝関係史講座 総合テーマ:日本の歴史と「朝鮮」の境界 「朝鮮高校無償化排除を改めて考える～朝鮮学校と朝鮮の関係をどうみるか?」 山本かほりさん(愛知県立大学教員) 毎回 正午より24時間 youtube上にて公開 参加費:無料(どなたでもご参加できます) 限定公開のため配信前日の金曜日までに事前連絡要 主催:同志社大学 KOREA 文化研究会 連絡先:doshisha_koribun@yahoo.co.jp</p>

18	<p>ネルソン・マンデラ国際デー</p> <p>●子どもたちと考える 戦争と平和展in高槻・島本2021 特別企画 平和カフェ「辺野古新基地建設事業の現状と課題」 14:00～16:00 ■場所:高槻現代劇場文化ホール2F展示室(先着100名) 講師:北上田毅さん(沖縄平和市民連絡会/土木技師) 問題提起:西尾慧吾さん(遺骨で基地を作るな!緊急アクション・呼びかけ人) 入場無料 主催:子どもたちと考える「戦争と平和展」in高槻・島本2021実行委員会 連絡先:080-3818-7042</p> <p>●韓統連セミナー2021 シリーズ「ウリ近代史」その1(1840年ごろ～1907年) 「列強の侵略と闘う民衆～激動する世界史と朝鮮民族の前進」 午後2時開会(1時30分受付) ■場所:KCC会館 5階ホール 報告者:金昌範(韓統連大阪本部文教部長) 参加費:800円(青年・学生は500円) 主催:在日韓国民民主統一連合大阪本部 連絡先:090-3822-5723(崔<チェ>)</p> <p>●米軍Xバンドリーダー基地撤去! 基地のない京丹後を! 辺野古新基地建設阻止! 東アジアの平和を! 近畿連絡会総決起集会 13:30～ 集会後デモあり ■場所:京都府部落解放センター 参加費:500円 現地報告:永井友昭さん(京丹後宇川の風代表/京丹後市議会議員)ほか 主催:米軍Xバンドリーダー基地反対・近畿連絡会 連絡先:075-467-4437 ☒kyogamisaki2013@yahoo.co.jp</p>
20	<p>～8/1(日)まで</p> <p>●中村哲氏写真パネル展「天、共に在りアフガニスタン35年の闘い」 入場無料 ■場所:三田市ウッディタウン市民センター1. 2Fギャラリー 主催:平和を考える市民の会 協力:PSM(平和医療団・日本)・ベシャワール会(福岡市) 後援:三田市・三田市教育委員会・三田市社会福祉協議会・神戸新聞 連絡先:平和を考える市民の会 080-3788-9547(井藤)</p>
21	<p>●「一元化条例」制定後の府・市政を考える討論集会18時30分～20時30分 ■場所:エルおおさか大会議室 内容:「大阪市会の情勢報告」市議員 武直樹さん「これからの市民運動の課題と実践・問題提起と討論」資料代:500円 主催:どないする大阪の未来ネット 連絡先:090-3270-8244(NPO労働と人権サポートセンター)</p>
23	<p>●老朽原発を動かすな!講演会 14:00～16:30 ■場所:高槻現代劇場文化ホール2F展示室(先着100名) 講演1:武村二三夫さん(弁護士)「反原発と原発裁判の流れ12.4大飯原発設置許可取消大阪地裁判決を踏まえて」 講演2:木原壯林さん(若狭の原発を考える会)「老朽原発再稼働を巡って」 資料代:500円 オンライン配信あり 主催:反原発自治体議員・市民連盟関西ブロック 連絡先:090-6062-3764</p>
24	<p>●2021年度 同志社大学日朝関係史講座 総合テーマ:日本の歴史と「朝鮮」の境界 「分断を生き統一を願う文学とは」 黄英治さん(作家) 毎回 正午より24時間 youtube上にて公開 参加費:無料(どなたでもご参加できます) 限定公開のため配信前日の金曜日までに事前連絡要 主催:同志社大学 KOREA 文化研究会 連絡先:doshisha_koribun@yahoo.co.jp</p>
30	<p>人身取引反対世界デー</p>
31	<p>●戦争をさせない1000人委員会・しが 連続市民講座 第10回 14時～16時 ■場所:大津・自治労会館・2階会議室 講師:金光男さん(在日韓国研究所代表) 演題:「朝鮮半島平和プロセスと日本の平和を展望する」 協力費:500円 主催:戦争をさせない1000人委員会・しが 連絡先:滋賀県民平和人権運動センター内事務局 090-8821-5367(木戸)</p> <p>●2021年度 同志社大学日朝関係史講座 総合テーマ:日本の歴史と「朝鮮」の境界 「思想としての『祖国』～先人たちへの聞き取りから」 中村一成さん(ジャーナリスト) 毎回 正午より24時間 youtube上にて公開 参加費:無料(どなたでもご参加できます) 限定公開のため配信前日の金曜日までに事前連絡要 主催:同志社大学 KOREA 文化研究会 連絡先:doshisha_koribun@yahoo.co.jp</p> <p>●子どもたちと考える 戦争と平和展in高槻・島本2021 特別企画 学習会「戦意高揚宣伝(プロパガンダ)を考える」 14:00～16:00 ■場所:高槻現代劇場文化ホール2F展示室(先着100名) 講師:河田隆史さん(高槻市在住) 入場無料 主催:子どもたちと考える「戦争と平和展」in高槻・島本2021実行委員会 連絡先:080-3818-7042</p>
5	<p>●8.5原発賠償関西訴訟・第30回口頭弁論 ■場所:大阪地裁前 13:00集合～抽選、14:00開廷 ※裁判終了後の報告集会は未定 問合せ:原発賠償関西訴訟の応援団★KANSAIサポーターズ TEL070-5658-9566</p>